

★機関故障に注意★ 船外機編



冷却系統

I. サーモスタットの点検

劣化



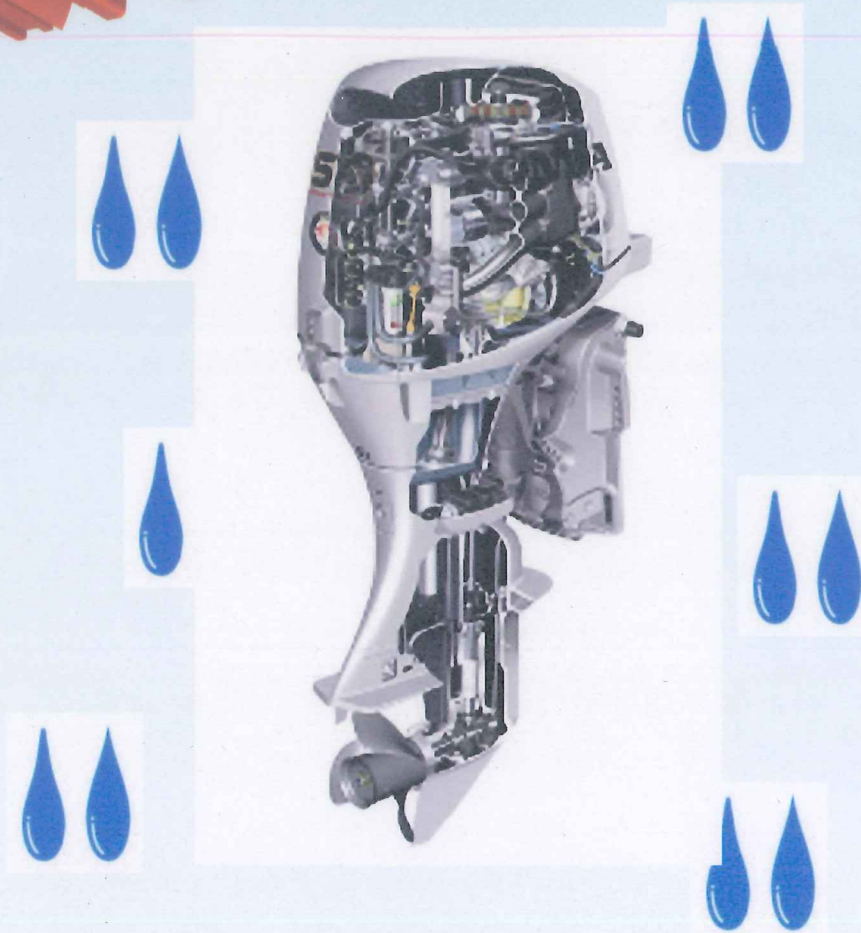
塩の固着等が、作動不良により、過冷却を引き起します。→**かぶり**の原因の一つ

II. アノード(防食板)の交換



電触の防止 ほっておくと故障の原因ともなり**機関停止**にも繋がります。

調子はいかがですか?



悲鳴をあげてませんか?

潤滑油・燃料系統

I. オイルエレメントの交換



劣化



目詰まりを引き起こし、エンジン内部の**焼き付き**を招きます。

II. 燃料コックの開閉



航走"開"

通常"閉"

走行時の開け忘れは、「**エンジン停止**」に繋がります。

機関故障箇所の多くは 冷却系統、燃料・潤滑油系統です。

* 詳しくはメーカー取扱説明書を参照願います。



- ①消耗部品は、**定期的な交換**を!
- ②暖機運転**3分** 冷機運転**5分**!
- ③使用後は、十分な**水洗い**を!



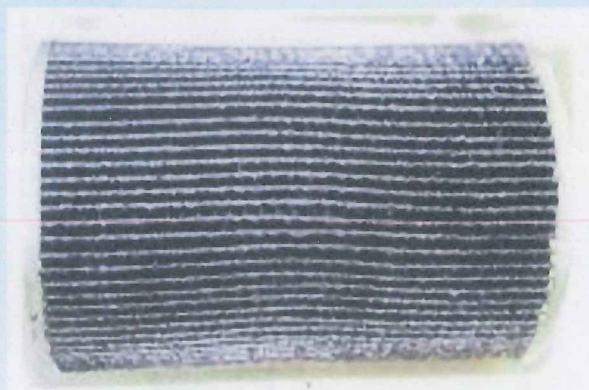
姫路海上保安部
加古川海上保安署

★ 機関故障に注意 ★ 船内機編



定期的な交換

燃料フィルター



給油時は水やゴミ等が混入しないよう注意が必要です
また、油水分離器の水抜きも必要です

エアフィルター



気をつけてください！！

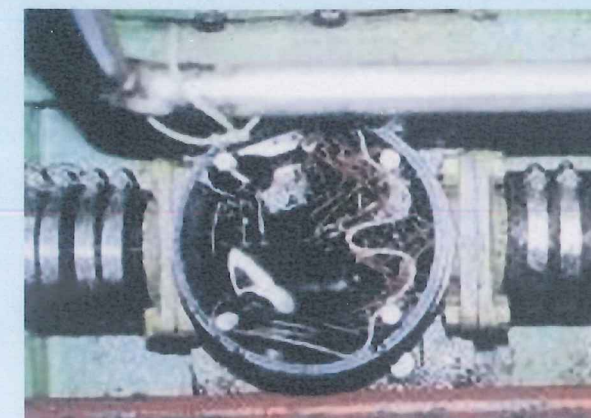


点検を怠った



変形したコンロッド

海水こし器の点検



エンジン始動後は冷却海水の吐出量を確認して下さい。
海水こし器にごみが詰まっている場合は取り除きます。

エンジンオイルの点検



海水が混ざっている場合は白く濁っています。

点検を怠ると

- 始動困難
- 回転ムラ
- 不慮の機関停止

事故の原因となります



- ・ バッテリーの点検
液量・比重、接続部の腐食・緩みの確認
- ・ ベルト類の点検
張り具合 ・ヒビ割れ

等の確認もしましょう！



姫路海上保安部
加古川海上保安署